
【ソフト名】	15秒で作る 項目名を付けた散布図・バブルチャート free エクセル Excel
【登録名】	scbl101free.zip
【Ver】	1.01
【著作権者】	Terrapy 寺田裕司
【動作環境】	Windows7/8/8.1 , Excel2007 ~ 2013
【製作月日】	2015/10/27
【ソフトウェア種別】	フリーウェア
【転載条件】	内容を変更しなければ可
【掲載条件】	事前連絡不要、事後報告いただければありがたい。

★『15秒で作る 項目名を付けた散布図・バブルチャート エクセル Excel』

内容説明

ワンタッチで項目名を付けた散布図・バブルチャートを作成します。
マクロを有効にして開くことが必要です。

★ 本ブックの制限

特に、制限がありません。

同梱ファイル

「scbl_101free.zip」内のファイルには、次のファイルが含まれます。

- ・ 散布図バブルチャート 101free.pdf … 本ソフトの説明
- ・ 散布図バブルチャート 101free.xlsm … テンプレート、サンプルデータあり

作者連絡先

【作者】 Terrapy 寺田裕司

※ご意見・お問い合わせ先

Excel グラフのサイト：<http://excelcharts.biz/>

Excel グラフの自作ソフト：<http://excelcharts.biz/mysoft/>

Excel グラフの mail：contact@excelcharts.biz

◇主な制作実績

詳細 <http://excelcharts.biz/book/>

● マクロを実行できる状態でブックを開く

Excel の初期設定では、マクロを含むブックを開いただけではマクロを実行することができません。ここでは、マクロを実行できる状態でブックを開く方法について解説します。

◇ Excel2007

初期設定では、マクロを含むブックを開くと画面の左上部に警告のメッセージが表示されます。このとき、[オプション]ボタンをクリックし、[このコンテンツを有効にする(E)]を ON にして[OK]ボタンをクリックします。

◇ Excel2010/2013

初期設定では、マクロを含むブックを開くと画面の左上部に警告のメッセージが表示されます。このとき、[コンテンツの有効化]ボタンをクリックします。

3. マクロの実行方法について

マクロは実行できる状態でマクロを含むブックを開いていますと、Excel のリボンから実行することができます。

◆マクロを実行する

ブックに含まれているマクロを実行するには、次のように操作します。

- (1) [開発]タブにある[マクロ]ボタンをクリックします。
- (2) 「マクロ」ダイアログボックスにある[マクロ名(M)]の一覧表から目的のマクロを選択し、[実行(R)]ボタンをクリックします。

◆エラーが発生した場合

マクロの実行時にエラーが発生した場合は[終了(E)]ボタンをクリックし、マクロの仕様通りの操作を行っているかを確認します。

1. 本ソフトのコンセプト

Excel のグラフ機能を使うと、散布図・バブルチャートは簡単に作成することができますが、ドットやバブルに項目名を付けるのが面倒です。そこで、本ソフトでは項目名を付けた散布図・バブルチャートを作る手間を省くことを目的に開発しました。

(1) 項目名付き散布図・バブルチャート作成は面倒！

Excel のグラフ機能を使って、項目名を付けた散布図・バブルチャートを作るには、次の 2 段階の操作が必要です。

- ① 散布図・バブルチャートの「x の範囲と y の範囲」を設定します。
- ② データラベルを表示して、項目名を設定します。

特に Excel2007/2010 では、ドットやバブル 1 つひとつに対してデータラベルを設定す

ることが必要になります。

(2) ワンタッチで項目名を設定するにはマクロを使う

本ソフトでは、ユーザーフォームに設定内容を入力するだけで、項目名を付けたグラフを作成します。設定内容は次の通りです。

設定内容は多いですが、項目名を付けたグラフに必要な内容は ①グラフの種類、③データのセル範囲、⑤ラベルの位置の3つです。

▲マクロのユーザーフォーム

★ マクロの設定内容

① グラフの種類を選択する

② グラフのタイトルをセル参照で入力する

③ 項目名を含めてグラフデータの範囲を選択する

※ マクロの実行前に選択しているセル範囲を自動入力する

※ 指定したデータ範囲に「#N/A」があると、実行時エラーになる

④ ③で列見出しまで選択して ON にする

⑤ データラベルを表示してマーカーやバブルに項目名を表示する

⑥ ON にするとセル参照で項目名を入力する

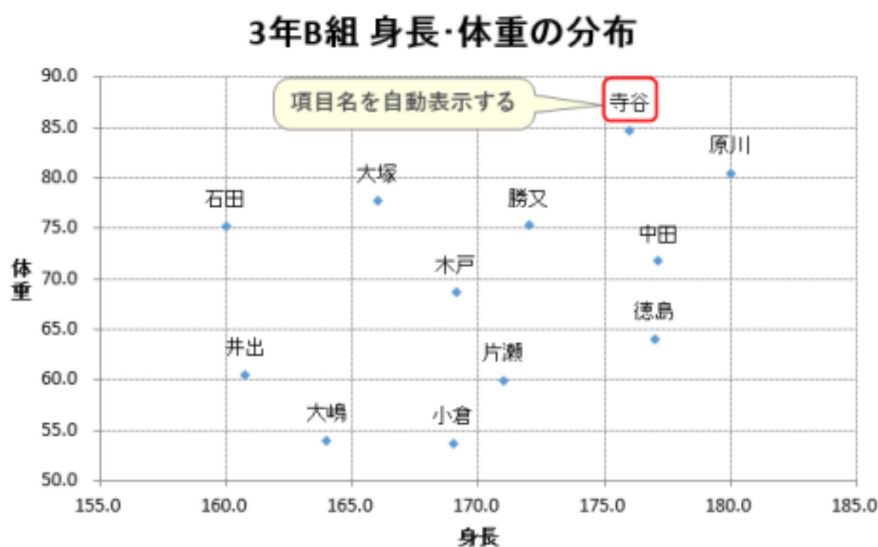
⑦ マーカーやバブルの色をデータ範囲の左端列の文字色に設定する

⑧ マーカーやバブルの色を別々の色に設定する

- ⑨ 縦軸と横軸をグラフの中央に表示する
- ⑩ 凡例を表示する
- ⑪ グラフを作成する

◇ 本マクロの使用法

本マクロは、散布図とバブルチャートの項目名の表示、マーカーとバブルの色の設定、バブルチャートの元のデータの設定を自動化しています。このマクロを使用するには、項目名を含めて元のデータのセル範囲を選択してから(飛び飛びのセル範囲は正しく認識されない)、マクロを実行し、オプションを設定して[OK]ボタンをクリックします。なお、セル範囲はマクロのユーザーフォームから設定することもできます。



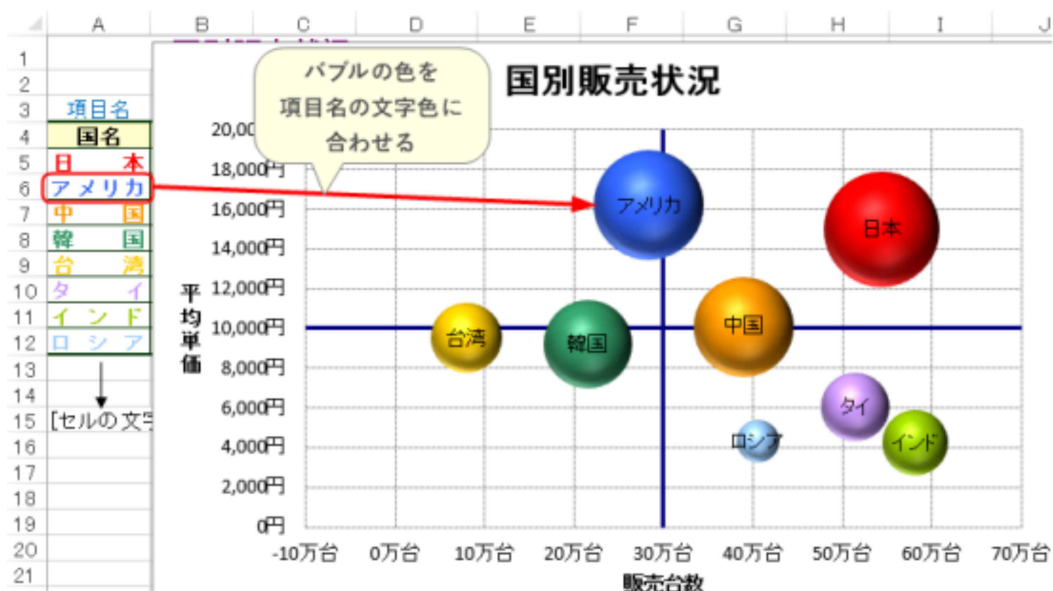
▲項目名の自動表示

(3) 項目名の自動表示だけじゃない

本マクロでは、項目名を表示するだけでなく、ドットやバブルの色分け、分割線などの機能を付け加えています。

- ・ マーカーやバブルの色をデータ範囲の左端列の文字色に設定する

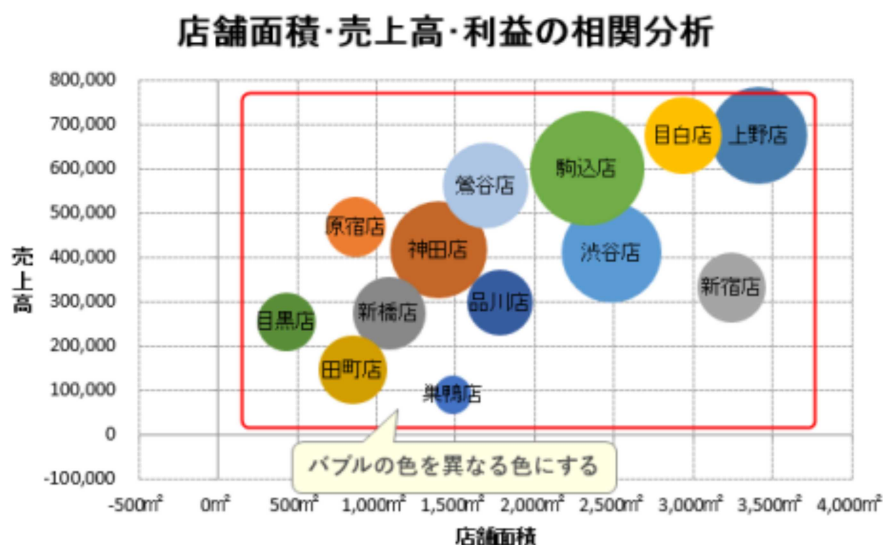
「セルの文字」機能では、データ表と関連づけて見やすいように、マーカーやバブルの色をデータ表の左端の文字色に設定します。



▲項目名の文字色による色指定

- ・ マーカーやバブルの色を別々の色に設定する

「要素の塗り分け」機能では、マーカーやバブルを区別しやすいように、それぞれを別々の色に設定します。



▲要素の塗り分け

- ・ プロットエリアを4つに分割する

「中央で分割」機能では、データをカテゴリー分けするために、縦軸と横軸をプロットエリアの中央に太線で表示します。

